

1. 化学品及び会社情報

製品名	: HG-COAT120
品番	: 216034
会社名	: ホダカ株式会社
担当部署	: 企画開発部
住所	: 〒343-8520 埼玉県越谷市流通団地1-1-9
電話番号	: 048-985-2000
FAX番号	: 048-985-1959
奨励用途及び使用上の制限	: 表面コーティング剤

2. 危険有害性の要約

GHS-分類

物理化学的危険性	: 引火性液体, 区分3
健康に対する有害性	: 皮膚腐食性/刺激性, 区分1A 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性, 区分1 特定標的臓器毒性(単回暴露), 区分1, 肝臓、呼吸器 区分3, 麻酔作用
環境に対する有害性	: 水生環境有害性 短期(急性), 区分3 水生環境有害性 長期(慢性), 区分3 上記以外のものは「分類できない」「分類対象外」

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: H226 : 引火性液体及び蒸気 H314 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H335 : 呼吸器への刺激のおそれ H370 : 肝臓、呼吸器の障害 H402 : 水生生物に有害 H412 : 長期的継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

- : P210 : 熱、高温のもの、火花、裸火及びその他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- : P233 : 容器を密閉しておくこと。
- : P240 : 容器を接地しアースをとること。
- : P241 : 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- : P242 : 火花を発生させない工具を使用すること。
- : P243 : 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- : P261 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P264 : 取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P271 : 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273 : 環境への放出を避けること。
P280 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

- 応急措置 : P301 + P330 + P331 : 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303 + P361 + P353 : 皮膚(または髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P304 + P340 : 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305 + P351 + P338 : 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310 : ただちに医師に連絡すること。
P321 : 特別処理(このラベルの補足の応急処置指示参照)。
P363 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378 : 火災の場合 : 消火には、乾燥砂、粉末消火剤(ドライケミカル)、または耐アルコール性フォームを使用する。
- 保管 : P403 + P233 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 : 施錠して保管すること。
- 廃棄 : P501 : 廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関連法規・法令を遵守し適正に処理する。
- 最重要危険有害性 : 特定の危険有害性
- 水と接触すると水素、アンモニア及びシランを発生させる。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名	含有量 [%]	官報公示整理番号(化審法)	CAS番号
エーテル系溶剤	開示しない	登録済み	開示しない
シリカ系化合物A	開示しない	登録済み	開示しない
シリカ系化合物B	開示しない	登録済み	開示しない

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のところへ移動させ、安静を保つ。
呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ気道を確保した上で人工呼吸を行なう。

- 直ちに医療処置をうける手配をする。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断して取り除く。
刺激が続く場合はできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。
- 目に入った場合 : 最低15分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行なう。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。
- 飲み込んだ場合 : 被災者に意識がある場合、水又は牛乳を与えて胃内を薄める。
無理やり吐かせてはいけない。被災者を安静にさせできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 二酸化炭素(炭酸ガス)・粉末(BC)消火器
・耐アルコール泡消火器・不活性ガス
- 使ってはならない消火剤 : 粉末消火器(ABCタイプ、リン酸塩類の消火器は使用しないこと)・水
消火を行う者の保護 : 全身保護衣を着用すること。
火災の際には適切な呼吸器を着用する。
- 特定の消火方法 : 蒸気を吸入しないために風上に移動する。
火災の現場から製品を退避させるか、蓄熱による(容器内の)圧力上昇を抑えるため容器を水の噴霧により冷却する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 換気を充分にとり、部外者の立ち入りを防ぐこと。
適切な保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項 : 排水溝、水系あるいは土壌等へ流してはならない。
適切な防護措置により拡散を防ぐこと。
- 除去方法 : 回収が終わるまで十分に換気を行い、作業の際には適切な保護衣を着用する。漏出物は不活性な物質(乾燥砂、土、おがくず、ウエス等)を用いて吸収させ、廃棄用容器に回収する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。
蒸気の吸入や皮膚、眼及び衣類への接触を避けること。
取扱いの後は手等を十分に洗浄すること。
(使用後は)常に容器を密閉すること。
- 注意事項 : 静電気の帯電への予防対策をとること。

保管

- 技術的対策 : 製品提供時の容器で保管すること。
十分に換気のとれた涼しい場所で容器を密閉し保管する。
- 保管場所および容器の必要条件 : 適用される法令・法規等に従って保管を行なう。
消防法、国際輸送法等に規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止および保護措置**設備対策**

- 換気の良い場所で使用すること。
屋内で作業する場合は局所排気装置等の使用下で取り扱うこと。

保護具

- 呼吸器の保護 : 不十分な排気・換気または長時間にわたる暴露には呼吸保護具を用いること。
- 手の保護具 : 保護手袋(耐有機溶剤)
- 目の保護具 : リスクの程度に応じて眼に対する保護具を着用すること(サイド保護付き保護眼鏡あるいは保護ゴーグル、必要に応じて保護シールド)。
- 皮膚及び身体の保護具 : 皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。
保護服(耐有機溶剤)

9. 物理的および化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 黒褐色
- 臭い : エステル臭
- 融点 : データなし
- 沸点 : 142.2 °C
- 引火点 : 29°C
- 自然発火点 : 185 °C
- 爆発範囲 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 粘度 : データなし
- 比重 : 0.94
- 溶解性 : 水に対して不溶(徐々に加水分解する)
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 蒸気圧 : データなし

10. 安定性および反応性

- 避けるべき条件 : 強酸化剤との接触を避けること。また強酸性及び強塩基物質との接触は本製品の加水分解をおこすおそれがある。
水及びアルコールとの接触を避けること。
熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。

- 危険有害反応可能性 : 熱分解により二酸化炭素(CO₂)、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NO_x)を発生させるおそれがある。
水の存在により徐々に加水分解され、エタノール、水素及びアンモニアガスを発生させる。
- 反応性 : 水の存在により徐々に加水分解され、エタノール、水素及びアンモニアガスを発生させる。

11. 有害性情報

製品

データなし

急性毒性

- 急性毒性(経皮) : 急性毒性推定値(ATE): 335, 135mg/kg 方法: 計算値
- 皮膚腐食性及び刺激性 : 腐食性あり。(ウサギ)分類: 腐食性あり。
方法: OECD 404
(類縁製品の分析による)
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 眼に重度の障害を与えるリスクがある。分類: 腐食性あり。
本製品は未試験(眼腐食・刺激性)です。本情報は皮膚腐食性の結果に基づき分類されました。

組成情報

エーテル系溶剤

急性毒性

- 急性毒性(経口) : LD50: 5, 686 mg/kg(ラット)
- 急性毒性(経皮) : LD50: 7, 745 mg/kg(ラット)
- 皮膚腐食性及び刺激性 : 重度の皮膚刺激性(ウサギ)
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 強い(severe)眼刺激(ウサギ)

特定標的臓器毒性 - 単回暴露 : 眠気又はめまいのおそれ。

12. 環境影響情報

製品情報

その他の環境影響情報

生態系に関する追加情報 : 知見なし。

組成情報

エーテル系溶剤

生態毒性

: EC50: 26 mg/l, 48 h, (オオミジンコ)

残留性と分解性

生分解性	難分解性 (3 %)
	出典 : NITE (独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
その他の環境影響情報	
生化学的酸素要求量 (BOD)	: 3 %
有機溶剤	
生態毒性	: EC50: 11.05 mg/l, 48 h, (オオミジンコ)
残留性と分解性	難分解性 (56%)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。 焼却する場合は関連法規・法令を遵守する。 廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関連法規・法令を遵守し適正に処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内部に付着した物を完全に除去し、上記の方法に従って廃棄を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制
IATA 国際航空輸送協会
危険物規則
UN -NO : 2920
正式輸送品名 : Corrosive liquid, flammable, n.o.s.
危険物の分類 : 8
容器等級 : II
危険ラベル : 8 (3)
Environmentally hazardous : no
IMDG 国際海上危険物規制
UN -NO : 2920
正式輸送品名 : CORROSIVE LIQUID, FLAMMABLE, N.O.S.
危険物の分類 : 8
容器等級 : II
危険ラベル : 8 (3)
EmS NO 1 : F-E
EmS NO 2 : S-C

15. 適用法令

化審法	規制されない。
-----	---------

労働安全衛生法	規制されない。
毒物及び劇物取締法 消防法	規制されない。
	: 第四類 引火性液体 第二石油類 危険等級III, 非水溶性, 指定数量 1,000L
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法)	
	: 規制されない。

16. その他の情報

詳しい情報

記載内容は現時点で入手可能な資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。含有量、物理化学的性質等は保証値ではありません。注意事項は通常の実用を前提としたものであって、特別の取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のご配慮をお願いいたします。また記載されている内容は情報提供であって保証するものではありません。